

僕たち・私たちの活動日記 eco

2010年6月12日土曜、天気晴れ。

長久手町立南小学校の校区にて、
グリーンマップ活動をしました。
参加者は、南小学校のお友達と
愛知淑徳大学の学生の約60人でした。



9:30 南体育館集合！
大学生が作ったクイズに
挑戦しながら、環境の大切さを学びました。



10:00 グループワーク
みかん、バナナ、ぶどう、すいか、
りんご、もも、ブルーベリーの7つのグループに
わかれ、まずは、なまえ、好きな食べ物など
自己紹介をしました。
「一緒に活動する人は、どんな人かな？」

今日使うアイコンや担当する地区を確認
しました。
「私たちのグループは、この地区を担当します。
がんばりましょうね！」

10:15
いよいよ担当した地区へ、
レッツ・ゴー！グループごとに担当した
地区へ出かけて、グリーンマップづくり
がスタートしました。



「ここには、どのアイコンがいいかな」



「今いる場所は、ここだね」



「アートをみつけたよ」



「虫をみつけた！」



7つの各グループは、担当した地区を
しっかり調査しました。
「こっちは、
生き物がいるよ！」

11:15 ただいま！
体育館に戻り、担当した
地区では、どんな発見があったか、
グループごとにふりかえりをしました。



「たくさんの発見が、
あったね！」



「どうしてこのアイコンを選んだのか、
理由を書こうね」



早く作業が終わった人は、生きものの
折り紙に挑戦しました。



みんなの思いがたくさんつまった、
世界にひとつのグリーンマップをつくりました。

一人ひとりが、今日の活動の感想を
カードに書き、
ボードにはりました。



完成
しました



参加した南小のお友達の感想

すずめがかわいかった。
(葉々子)

あつかった。
たのしかった。
(かずとも)

たのしかったです。
でもつかれた。
写真たくさんとった。(南風)

いっぱい歩いてつかれたけど
とても楽しかったです。
さんがしてよかった。(まゆ)

さいしょに花をみつけました。
チョウもみつけたりして楽しかったです。
(香苗)

シールが四十一こ
あつたらうれしい。
(たがまさ)

けしがよかった。
(ぞら)

このグリーンマップを作った仲間たち



ながくてグリーンマップ 2010・初夏

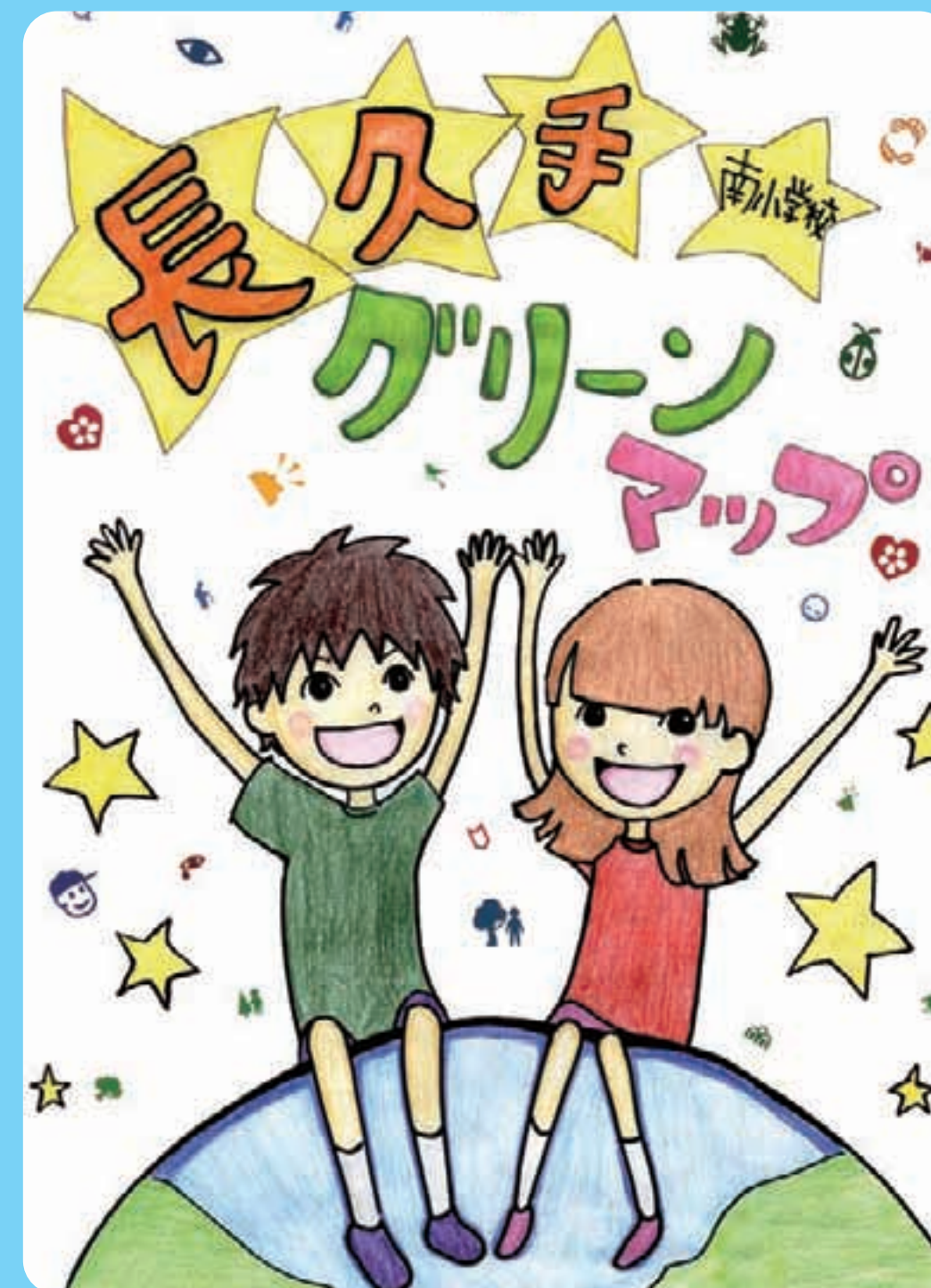
制作 長久手町立南小学校のお友達と愛知淑徳大学の学生
企画・運営 愛知淑徳大学生
後藤 可奈、加藤 愛美、上杉 智里、池谷 沙紀、藤田 紗綾、
浅野穂菜美、西山 静香、井上 結衣

グリーンマップメーカー 小島 祥美
(愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター)

発行 長久手町役場 生活環境部環境課 発行日 2010年9月1日



このマップは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



～長久手 2010・南小学校区編～

「グリーンマップ」ってなあに？

グリーンマップとは、自分たちが暮らすまちの環境に良いところや悪いところを調べて、世界共通の絵文字(アイコン)を使って環境マップをつくる活動です。

グリーンマップは、1992年に
ニューヨークの環境デザイナー、
ウェンディ・ブラウアーさんによっ
て、提唱されました。

世界では約50カ国、600以上
の地域が、グリーンマップ活動に
参加しています。



アイコンは、現在125種類あります

COP10ってなあに？

この地球上に暮らすすべての生き物
がつながりあって生きていることを、
「生物多様性」といいます。

COP10(生物多様性条約第10回締約
国会議)とは、生物多様性を守るために
開かれる重要な国際会議のことです。

この会議は、今年2010年10月、名古屋
市で開催されます。



